

市民連合議員団

濱田市長の 3期目集大成施策を問う！

岩 為 久 隆 中 実
※山口 重雄 保 隆 浜 実

※は発言者

6次産業化推進戦略 策定の趣旨は

議員 6次産業化推進戦略策定の趣旨と取り組む課題について伺います。

市長 6次産業化の市場規模は全国的に拡大している一方、本市では6次産業化に取り組まれている農林業者が多くなく、人材育成や多様な技術等を持つ事業者との連携等が課題です。そこで、本市は6次産業化の推進戦略を策定し、市内の農林業者が生産から加工・販売までを一体的に行

う取り組みや商工業者との連携促進により、農林産物等の地域資源を活用した新たな付加価値を生み出す取り組みを支援します。また、農林産物加工品の開発等により、農林業をはじめ市内産業の活性化を図ります。

五領地域 まちづくりのイメージは

議員 五領地域について、どのようなまちづくりをイメージされているのか伺います。

市長 本地域は新名神高速道路の開通等に加え、今後、高槻東道路延伸部等の整備により交通利便性等が高まるため、交通の要所となる地域特性を生かしたまちづくりを進めることが重要と考えます。また、前島地区では、大阪府が整備を進める十三高槻線2期区間と牧野高槻線渡河橋が交差し、広域的な道路ネットワークが形成され、経済の活性化が大いに期待できるため、幹線道路沿道のポテ

ンシャルを最大限に活用できる産業系の土地利用の誘導が望ましいと考えます。

コミュニティセンター運営 補助等の課題への対応は

議員 コミュニティセンター運営補助・支援に関する財務処理、人件費補助等が課題であるとのことですが、その対応を伺います。

市長 コミュニティセンターについては、有償ボランティアであるスタッフの事務負担が増加している状況です。今後引き続き、地域の活動拠点であるコミュニティセンターの管理運営が円滑に行われるよう、スタッフの報償金等の管理運営に係る補助金を増額するとともに、事務支援の充実に努めます。

芥川山城跡

国史跡指定後の将来構想は

議員 芥川山城跡について、国史跡指定後の市としての歴史的位置付けと将来



▲地域の活性化とまちのにぎわい創出につなげることが期待される芥川山城跡

構想を伺います。

市長 これまでの取り組みを通じ、芥川山城は三好長慶の先進的な政治の舞台となったことが明確となり、また、城内における大名家の人々の生活が具体的に把握できる稀有な城郭遺跡であると評価されています。史跡指定後は、引き続き城

跡の保存活用計画の策定に取り組み、この貴重な歴史遺産を確実に次世代へと引き継ぎ、将来的な地域の活性化とまちのにぎわい創出につなげていきます。

山間3地区の開発規制を 緩和し地域の活性化を

議員 檜田、川久保、萩谷地区の山間3地区で市街化調整区域の開発を厳しく制限されることは一定理解できますが、過疎化等を助長する規制施策を緩和し、企業誘致等も含め、活性化に取り組むべきと提案しますが、見解を伺います。

市長 本地区は農地や森林の適切な保全のため開発を抑制する地域となっておりますが、地域資源を生かした活性化策を検討していくことが望ましいと考えます。施策推進に当たっては、今後も引き続き地域の状況等の把握に努め、地域との連携を図りながらコミュニティの維持と活性化に向けた取り組みを検討します。